



地区スローガン：「Love Other Spirit ～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～」

クラブ方針：「豊かな心を持とう! 今こそ『絆』」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 今野 文明 幹事 本橋 和也
 例会場 千葉スカイウインドウズ 東天紅 センシティブタワー23階
 TEL 043-238-5555
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : https://www.chibawest-rc.net/

■ 例会延期のため臨時週報会長挨拶 / 今野文明 会長

皆様、改めまして、この厳しいコロナ禍の中、本年度のロータリー活動へのご理解、ご支援を頂き誠にありがとうございます。まん延防止等重点措置が3月21日まで延期されました。また今後の感染状況を、高い警戒感を持って注視していく必要があると考え、3月15日の例会まで取消及びプログラムの延期とさせて頂きました。休会中は、停滞することなく、何かを発信し続けようと考えていましたが、やはりコロナは手強いです。

本来ならば、大変お忙しい中、調整をして頂いた、漆原摂子パストガバナーのテーマ、今改めて思う「クラブが主役になり、奉仕活動の実践を!」の卓話の予定でしたが残念です。またいつか実現出来たらと考えています。

漆原パストガバナーには、私が地区 RLI 推進委員長を務めていた年度に、ガバナーノミニージェグネートの立場でありながら DL(ディレクションリーダー)として、DL 第1～3回ブラッシュアップ研修会・RLI パートI～III・卒後コース・養成コースと RLI は事業の数が多く大変でしたが、全ての事業に参加して頂き、髪を振り乱して頑張っていました。その姿を見て、私達委員会メンバーも刺激を受け、気合が入ったことを思い出します。漆原さんという仕事柄でしょうか、お辞儀をする姿勢が良く見とれてしまいます。本当に素晴らしいなといつも感心しています。

私は明日、3月9日に三回目のワクチンを接種します。

日本で接種が進められているワクチンは、デルタ株等に対して、高い発症予防効果等がある一方、感染予防効果や、高齢者においては重症化予防効果についても、時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが示唆されています。このため、感染拡大防止及び重症化予防の観点から、初回(1回目・2回目)接種を完了したすべての方に対して、追加接種の機会を提供することが望ましいということなので、皆様も積極的に接種をお願い致します。まずは、この接種が自分自身をしっかり守りそれが家族や大切な人達を守ることに繋がると信じ、心を一つにしていかなければと強く感じています。

千葉市では感染者の状況等をまとめた週報を毎週木曜日に発行しています。新規感染者数は減少していますが、入院者数は増加しており、予断を許さない状況が続いています。感染防止の意識を今一度高め、感染防止策の徹底をしていきたいと考えています。

会員の皆様に於かれましては、くれぐれもご自愛して頂き、元気な姿でまた例会で元気にお会い出来ることを心より期待しています。

■ 「クラブが主役になり 奉仕活動の実践を!」 パストガバナー 漆原摂子様

皆様こんにちは。3月8日の例会にお招きいただき卓話をさせていただく予定でしたが、まん延防止等重点措置の千葉県における適用の延長のため、残念ながら皆様にお目にかかることが叶わなくなりました。しかしながら今野会長より、予定していた卓話の原稿をとのご依頼を受けました。本来であればパワーポイントを利用しての卓話でしたが、文書のみで失礼致します。

昨年度、私のG公式訪問の折には、当時の藤崎会長はじめ皆様に暖かくお迎えいただき、改めて感謝申し上げます。また今般の卓話にあたり、特にお付き合いの長い、こちらの海寶会員からのリクエストは、ガバナー年度を振り返り、基本的なロータリアン精神を話すように、また、若いメンバーがロータリー情報に触れる事で、真のロータリアンとしての誇りを持つようなきっかけになるような話を、と、承っております。このようなお話は誰よりも海寶会員が最適と思う次第ですが、私なりの解釈にて、なるべく分かりやすくお話をさせていただきたく存じます。

それに先立ちまして、私のガバナー年度は大変な嵐を巻き起こしてしまった年度となりました。すなわち、地区内グループ再編に関する件、そして次年度、梶原ガバナー年度におけるガバナー補佐任命に関する件でございます。特にグループ再編に関しましては、ガバナー月信をはじめ昨年5月の地区大会でも申し上げましたが、4割のクラブが反対の意思を表明されたことを受け、一旦延期とさせて頂きました。再編にご理解ご協力をいただいたクラブの皆様には有難く、一方反対されたクラブの皆様には申し訳なく、こんな複雑な思いの中の、実施の延期という結果となりました。グループ再編の目的につきまして改めて申し上げます、当地区の会員数は1997年から減少しており、現在、グループ内クラブ数や会員数もバラツキが発生しておりました。加えて、2002年に国際Rより各地区へ義務付けられたDLP地区リーダーシッププランの導入、特に分区代理からガバナー補佐という名称の変更、そしてその責務も増したことから、当地区でも各グループ内クラブ数、会員数の平準化を試み、ガバナー補佐の負担も公平にしようという考えが基本でございます。その動きはとくにここ5-6年の歴代ガバナーにより顕著となりました。そして諸岡ガバナー年度には、グループ平準化を目指したグループ再編会議が地区組織に設けられ、新グループ再編の発表に至った次第です。決して地区が上から目線・上意下達で実施しようとしたことではないという事は、ご理解いただきたく思います。そして今年度梶原G年度に、改めて設けられたグループ再



編会議の出した結論は、当時発表しました再編案を白紙にするということでございます。今回の件により、少なくとも地区内多くの会員の皆様、地区リーダーシッププランに関するご理解を少しでもお持ちいただけますことを、ささやかな願いと思う次第です。

さてそれでは、私の年度の地区スローガン、「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を!」を改めて考えてみたいと思います。地区スローガン決定に至るまでですが、私の場合は振り返りますと、研修リーダーでありました成田コスモポリタンRCの青木貞雄パストガバナーからは、ガバナーエレクト時代の12月頃まで、あらかたスローガンを考えておきなさいとアドバイスを受けました。まだロータリー歴も浅かった当時の私ですが、それでも、RIからの様々なメッセージ、すなわち4つのテストやロータリーの職業宣言、ロータリアンの行動規範、5つの中核的価値観、などなど多々あり、視点が定まらないままでもありました。そんな中、迷いながらも、原点であるロータリーの唯一無二の目的、標準RC定款第5条に記載されたこの文言、「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある」にターゲットを絞りました。このスローガンを地区内ガバナー補佐・委員長会議で発表したのは、2019年12月の会議の席でした。そして翌年、サンディエゴで開催された国際協議会に出席し、当時のホルガー・クナークRI会長エレクトから、RIテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を聞いたとき、良い意味で使い勝手の良いテーマであろうと思い、また自分が既に発表した地区スローガンとも上手く連動させて地区内クラブの皆様にご説明申し上げることが出来る、と、安堵した思いがありました。

奉仕の理念 The Ideal of Service、そしてこれを優しく説明したのが、RI事務総長を30年以上務めたチェスリー・ペリー氏おっしゃるところの、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」これを広く伝え、自己の職業のみならず家庭生活や全ての活動において実践することが、基礎・基本であると解釈しております。

もうひとつ、数あるRIからのメッセージの中、大切に感じたもの、それは、4つの戦略的優先計画です。これは、RIが2019年からむこう5年間にわたり適用すると発表したもので、戦略的優先事項の部分を実行計画と置き換えて説明されております。①より大きなインパクトを与える、②参加者の基盤を広げる、③参加者の積極的なかわりを促す、④適応力を高める。この4つの行動計画は、ロータリーのビジョンを達成するため、活動の方向づけとなるものです。ちなみにロータリーのビジョン声明は、「私達は世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」というものです。

4つの行動計画に戻ります。これは、今申し上げたロータリーのビジョンを達成するための手段であり考え方です。併せて私はガバナー公式訪問の折に、クラブの活性化、そして永くクラブが存続するため、各クラブが戦略計画をお持ちになり、5年後10年後のなりたいクラブを思い浮かべ、それをビジョンとして、クラブベースでこの4つの行動計画の実践をお願いして参りました。今一度その折の図で説明を致します。ロータリーの唯一無二の目的、他人を思いやり他人のためになることをするといった、皆様の様々な奉仕活動の実践は、実施した地域や世界で、大きなインパクトを与えます。目に見える活動は、ロータリーの公共イメージの向上に繋がり、仲間に入り共に良いことをしたいという参加者が増えるでしょう。新しく加わったお仲間を大切に、尊重しながら意見を聞き、また意見を交換することにより、その参加者のモチベーションが上がり、更に積極的な活動に加わってくれるはず。今般のコロナ禍もそうですが、地域や世界の情勢は絶えず変化をしています。現在もこちらのクラブもそうですが、まん延防止等重点措置の中、適応力を高めて会員の皆様が学ばれ、ハイブリッド例会という形を導入されたことにより、クラブの存続が保たれているわけでございます。そして次の奉仕活動の計画をしていただき実施することで、再び、みたび、周囲により大きなインパクトを与えることに繋がると考えます。クラブが戦略計画をもって、この4つの行動計画を繰り返し続けることにより、結果としてクラブは質・規模ともに向上拡大すると捉えております。

さて、これも公式訪問の折にお話を少し申し上げましたが、新会員候補に対するロータリーあるいはクラブの説明です。ロータリーに興味をお持ちいただいた方に、ロータリークラブってどんなところ?何をやるの?といった疑問に対し、是非皆様一人一人には、ロータリーモーメントを語っていただきたく存じます。ロータリーモーメントとは、心に残るロータリー体験です。会員の数だけ、ロータリーモーメントのストーリーがあるはず。ご自分が、所属クラブにて経験した素晴らしい体験。それは親睦活動でもよいですし、奉仕活動でもよいです。そこで得た喜びや感動を、ご自分の言葉で語って下さい。そのような具体的で身近なお話は、私は、最大の勧誘の殺し文句となると信じております。人によっては、いくつものロータリーモーメントがあたりのおいでもかと思存じます。そのような会員さんは、本当に恵まれた会員さんであるわけでございます。

実際私は昨年のクラブ公式訪問でのクラブ協議会で、事前にガバナー補佐を通じてお願いをし、各クラブから2-3名ずつ、3分くらいでロータリーモーメントを語っていただきました。語っていただく方の年代やロータリー歴によってさまざまなお話が出ましたが、それを聞きまして私も勉強になりましたし、他の会員さんも、他の人の色々なロータリー体験を共有することが出来、良かったと思っております。更に会員の中には、潜在的退会候補者、すなわち、ロータリーがなんとなく面白くない、やっている理由が見つからない等々で、辞めようかなと思っらっしゃる方もおいでかと思存します。そのような方も、同じクラブの会員の、心に残るロータリー体験をお聞きになり、ああそれならもう少し頑張っ、活動してみようかな、と、思い直す方も出てくると考えます。

さて過去の私の時代のことはこれくらいにして、次に、最近のRIの動向を見てみたいと思います。私のガバナー年度の終盤から提唱されました DEI (多様性・公平性・インクルージョン) について、改めてご紹介させていただきます。次年度当地区のガバナーになられる小倉純夫ガバナーエレクトは、2月に、オンラインで国際協議会に参加されました。次年度のRIテーマは Imagine Rotary との事。こちらの解釈につきましては、改めて小倉ガバナーエレクトよりお話があるかと思存しますが、次年度RI会長のジェニファー・ジョーンズ氏は、先程ご説明しました4つの行動計画と同様、このDEIを強調していらっしゃるようで、DEI、ここ数年の新しいキーワードとなりつつあるようです。

Dは Diversity : 多様性。既に一般社会でもおなじみの言葉です。あらゆる人々の年齢や民族、人種、宗教、文化、性別や性的思考などの違いを認めるのみでなく、異なる考えや価値観を持つ人々による貢献を大切にすることです。

Eは Equity : 公平さ。ロータリーへの入会や参加において、かつては特定の人々には壁があったという事実を踏まえ、全てのクラブ会員が公平な扱いと均等な機会、また支援を擁する人にはそれが得られるよう努めていくということです。

Iは Inclusion : 包み込むことを意味し、多くの人を社会やコミュニティに包み込むことを示します。ロータリーの場合には、

例えばクラブでは、受け入れた様々な人、そのすべての人が参加する機会を持ったうえで、それぞれの経験や能力、思考が認められ活かされ、会員として歓迎される状態を推進することです。

Equityについて補足説明させていただきます。よく似た言葉でEquality 平等 があります。第 2650 地区福井県の刀根壯兵衛パストガバナーが、「ロータリーの友」昨年 2 月号に寄稿されていましたが、例として、例えば背の高さの違う3人がリンゴを取るために、同じ高さの踏み台を3人に与えるのが Equality (平等) であります。この状況ですと、依然としてリンゴを取ることができない人が出てしまいます。それに対して Equity (公平さ) は、それぞれの背の高さに応じて違う高さの踏み台を与え、皆がリンゴを取れるようにすることで、結果平等を求める事です。ロータリーはこの後者を目指すのです。


またインクルージョンについても、同様に福井の刀根パストガバナーの文書をもとに補足説明させていただきます。違いを認め、クラブやコミュニティなどでこれを受け入れること、これが多様性ですが、これをもう一歩進め、それぞれ違った人々が互いに認め合い、それぞれ力を発揮でき、多様性を相互に活かすようにすること、これがインクルージョンです。いずれにしても、RI が発表したDEIという言葉は、新たなキーワードとして今後多々強調されていくと考えております。

それでは最後のまとめをさせていただきます。ここ数年話題に上るドイツの哲学者、マルクス・ガブリエル氏をご存じの方も多いと思います。ガブリエル氏は現在 41 歳、29 歳の時に史上最年少でドイツのボン大学に着任、7 ヶ国の言葉を自在に操る、天才的な若い哲学者です。彼は、今こそ「倫理資本主義」の考え方が大切である、と述べています。つまり、今回のコロナ禍をはじめ環境問題や貧困問題は、グローバル企業が利益を過度に、またさまざま速度で追求した結果生まれたものである、したがって、倫理や道徳が世界の価値観の中心となるべきで、この「倫理資本主義」が大切であるという理論です。いつかの利益に走り、開発途上国に乗り込み、環境を破壊して工場を建設し、低賃金で子どもまでも就労させるような、倫理観を欠いた一部企業のこのような行いが、不幸を生み出していると述べています。そしてその延長でコロナ禍も発生したと説明をしています。更に、倫理と経済は相反するものではない、富とは富を共有する可能性で、他者のためによりよいことをする可能性であると主張します。


このような彼の書籍を読み、これは、その昔、職業奉仕理念を確立した、アーサー・フレデリック・シエルドン氏が語ったことと共通しているなと感じました。シエルドン氏は、皆様ご周知の通り、特に職業に関し、単に自分だけが儲けようという商売から脱して、商売にかかわるあらゆる人や製品や業務に関する責任、これらすべてのサービスが企業の永続的發展と成功であると述べました。あれから 115 年経過しましたが、今、ドイツの新進気鋭の哲学者マルクス・ガブリエル氏は、同じ理念を説いていると感じます。そしてガブリエル氏も実践哲学の人です。ガブリエル氏の考えは、倫理観をもって、他者を思いやりながら、自己の職業はもとより、すべての活動に取り組むべきであるということ述べています。日常生活において、職業をはじめあらゆる活動をする前に、まず本当にそれが他人の望んでいることなのか、他人のためになることなのかを考え、人間としての倫理観をもって実践すること、そして意見が異なっても、寛容の精神をもって多様な考えを理解し、お互い認め合う努力をすること、昨今、RI が提唱する DEI 多様性・公平性・インクルージョンの気持ちをもって行動しようという心がける事、このことが、最終的には自分にかえってきて、自分の人生がより豊かになるのではないのでしょうか。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切に、自分が周囲に役立つ人間になる」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、ロータリーの奉仕活動においては仲間と親睦を深めながらその実践に役立つような人間を目指すこと、ロータリークラブだからこそ、そのような人づくりが出来るのです。自分を磨きながら、家庭や事業、地域や世界で、繰り返しになりますが、他人を思いやり他人のためになることを見つけて実践することが大切なのです。

私達はロータリーに入会した時点で、あらゆる奉仕の機会に巡り合うことのできる扉の中に入ったのです。そして他人への奉仕は、最終的には自分自身を磨く財産となります。大変残念な事に、現在ロシアによるウクライナ侵攻という、とんでもない暴挙が展開されております。次年度 RI テーマの Imagine Rotary、これを初めて聞いた時、私はジョン・レノンの歌、Imagine をすぐさま連想しました。ジョン・レノンはこの歌の中で、争いがなく世界が一つとなること、平和な世界の実現を訴えています。明日のよりよい世界を想像：イマジンし、千葉西 RC の会員の皆様が地域で世界でよいことをされます事を祈念申し上げます。



ロータリー学友と繋がるセミナー が 3月5日(土)に開催されました



ニコニコ BOX
・なし

千葉西ロータリークラブ	総数	出席	前々回の修正	ミーキャップ	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	48名	0名		0名	0%		0円	
	対象者	欠席		欠席	前々回の出席率		本年度累計	
48名	0名	0名	0%	695,000円	次週プログラム まん延防止等重点措置期間は例会取消 例会再開予定日 3月29日(火) ◎新入会員卓話 嶋田 悠 会員 中村武弘 会員 12:30点鐘 千葉スカイインドウズ 東天紅			
クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】桜井隆宏 【副委員長】海賢勲 *高橋健一郎 【委員】嶋田 悠 *野城隆憲 *北村悠介 *中村武弘 *川崎美嘉子								

※ 千葉西ロータリークラブ WEEKLY COMMUNICATIONは SNSやWebに掲載されます